信濃川河川事務所
記 者 発 表 資 料

本資料の発表を持って解禁とする

7 月 19 日出水（梅雨前線）でポンプ場が活躍

16 日から 20 日まで降り続いた今回の梅雨前線による出水では、信濃川の水位が上昇したことから、信濃川の水が支川に逆流することを防ぐため、支川等に設置されている水門を閉じる措置をとりました。しかし、この状態では、支川の水位が上昇し、支川が溢れる場合があります。このため、柳場川、島崎川、柿川及び湯殿川にて支川の水を信濃川本川に排水するポンプ場を稼働させ、水害の防止に努めました。

今回の出水では、柿川排水機場（ポンプ場）にて約 27 万 8 千立法メートル（長岡市悠久山屋内プール**約 410 杯分**に相当）を排水したのをはじめ、他３箇所の排水機場（ポンプ場）にて合わせて約 60 万立法メートル（長岡市悠久山屋内プール**約 890 杯分**に相当）の水を排水することで、家屋が浸水するなどの被害の発生を防ぐことが出来ました。

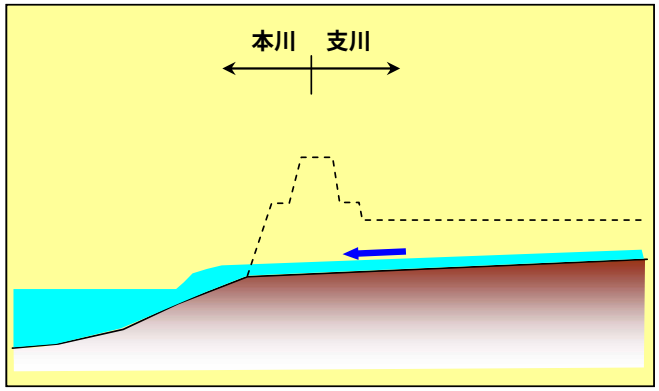
（約 0.3m3/s 排水時）

（約 7m3/s 排水時）

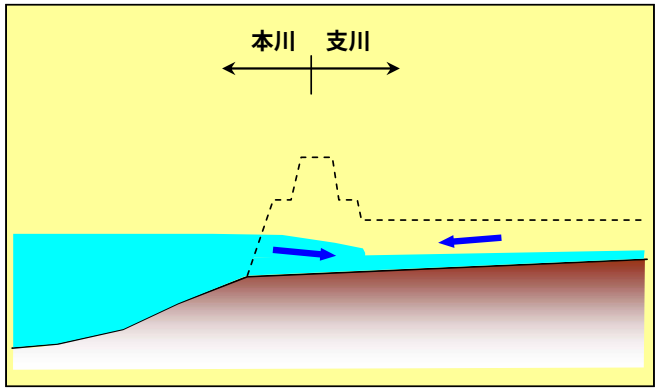
＜問い合わせ先＞
国土交通省　北陸地方整備局
信濃川河川事務所
副所長　　杉本 利英
TEL:0258-32-3020（代）
調査第一課長　山本 悟司
TEL:0258-32-3243（直）

参考）ポンプ場（排水機場）の役割

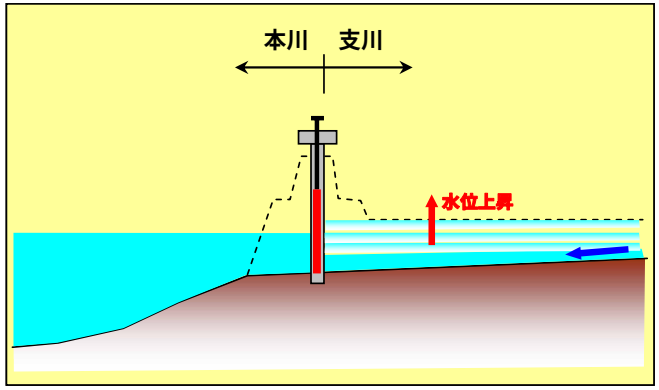
■平常時
支川の水は本川（信濃川）に流れ込んでいます。



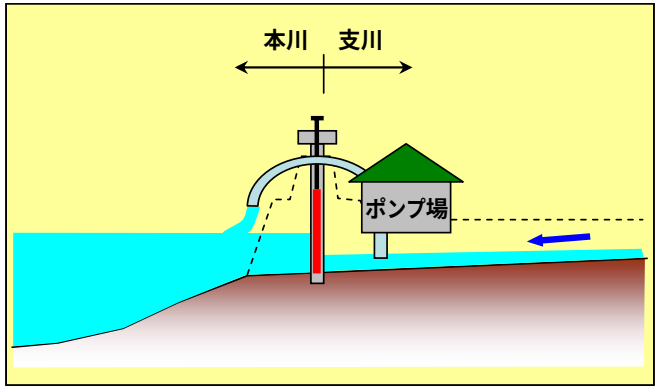
■出水時
本川が増水すると、支川に逆流し、水位の上昇が続くと、本川の水が支川から溢れることになります。（外水氾濫）



■出水時（逆流の防止）
水門等を設置することで、本川の水が支川に逆流しないようにします。ただし、このままだと、支川の水位が上昇し、溢れることになります。（内水氾濫）



■出水時（内水氾濫防止）
支川の水位上昇に対して、支川にポンプ場を設けて、支川の水を本川に排水させます。



参考）各施設位置図

湯殿川救急排水機場
柳場川排水機場
島崎川排水機場
柿川排水機場
日本海
十日町市
旧川西町
小千谷市
旧越路町
旧与板町
長岡市
旧大和町
旧堀之内町
旧小出町
JR飯山線
JR只見線
上越新幹線
北陸自動車道
国道405号
国道353号
国道291号
国道403号
国道116号